

長野公民館報

平成23年12月号

発行：田辺市長野公民館

TEL 34-0022

FAX 33-0836 (三栖コミュニティセンター)

館長：西田孝道 主事：廣畑明央



長野作品展を開催しました

11月11日(金) 13日(日)の2日間、長野小学校体育館で恒例の長野作品展を開催しました。長野小学校、伏菟野小学校の児童の作品、長野中学校の生徒の作品、地域の方、公民館教室、サークルの方の作品を展示しました。100点を越える作品が展示され、多くの方にご来場いただきました。

また、13日の午後からは、長野小学校の学習発表会が行われました。合唱や合奏、発表では、長野の名人の紹介や長野で見られる野鳥をスライドで紹介したり、大変興味深い内容でした。



熊野古道ハイキングに行ってきました

11月20日(日) すさみ町の熊野古道、長井坂を歩いてきました。

前日の雨が嘘のように天気が回復し、海からの風が少し強かったものの、絶好のハイキング日和となりました。16名が参加し、道の駅をスタートし、雄大な枯木灘海岸を眼下に望みながら見老津駅まで約5.4kmを2時間半かけて歩きました。



長野中学校の菊祭り

11月18日(金) 長野中学校で菊祭りが開催されました。ホールには、大輪の美しい菊がたくさん展示されていました。また、舞台発表では、合奏や職場体験の発表、生徒達で作った映画「ロミオとジュリエット」の上映や「西遊記」、「七人のこびと」の劇などが行われました。生徒達が楽しく、また真摯に取り組む様子が伝わってきました。



三栖谷新春ソフトバレーボール大会 出場者募集

三栖谷の3公民館(万呂・三栖・長野)では、恒例のソフトバレーボール大会を下記の通り開催いたします。たくさんの方のご参加をお待ちしています。

日時 平成24年1月15日(日)
午前8時30分から
場所 衣笠中学校体育館
競技部門 男女混合の部



・競技中、男子は2名以下(女子だけでも可)
・1チーム登録人数は6名まで(選手4名)
参加資格 三栖谷地区に在住または勤務の一般男女(学生を除く)

・申し込みはチーム単位でお願いします。
・チーム名は、参加者で付けて下さい。

締め切り 平成24年1月6日(金)午後5時迄

申込み先

長野連絡所(電話34-0123・FAX33-0833)

または、三栖コミュニティセンター(電話34-0022・FAX33-0836)まで

要項及び申込用紙は、長野連絡所、三栖コミュニティセンターにあります。

伏菟野小学校のふれあい交流会

11月27日(日) 伏菟野小学校ふれあい交流会が開催されました。学習発表会では、市長や教育長を迎え、歌の発表や「金のおの 銀のおの」の劇が行われ、練習の成果を十分に発揮していました。

その後、グラウンドで、児童による一輪車の披露や地域の方とグラウンドゴルフを楽しみました。午後からは、やきもの教室が行われ、今年は、例年より難しいお皿作りに挑戦しました。



長野自主防災対策会議について

去る11月17日(木)午後7時から、町内会館『清滝』において、長野自主防災対策会議が開催されました。

この日の会は、学校側から「地域における学校の防災について考える会を持ってほしい。」と長野自主防災会に要請があり、取り組みをすすめていたところ、公民館からも「今後『防災と人権』に関して学習会を持つ予定なので、その参考のため『公民館の人権学習実行委員のメンバーも同席してほしい。』との申し込みがあり、長野自主防災会の役員以外に、長野地区小・中学校の校長、民生児童委員、公民館の人権学習実行委員等30名以上の参加者がありました。

会議は、自主防災会長である森町内会長が座長をされ、市の防災対策室からは宮脇室長他1名が参加され、『こんなときはどうする』の資料が配られ、細かいアドバイスをいただきました。

意見交流の中では、学校側からは、避難場所としての対応のあり方について、経験を通じた具体的な意見や要望が出されました。

また各区長等からは、避難勧告や避難指示に対する質問や意見、消防団からは災害地に到着するまでのリアルな報告等がありました。

参考になる話は色々ありましたが、特に印象に残ったのは、災害に対する最大の防御は、『地域力』であり、普段の地域の深い絆が、災害を未然に防ぎ、もし災害が起こっても早期復旧が可能になることを教えられました。

(公民館長 西田孝道)

田辺市まちづくり市民カレッジ 第4回講座

原発と新エネルギー

日時 平成23年12月11日(日)

午後1時～午後4時30分

場所 ひがしコミュニティセンター「大集会室」

田辺市南新万 28-1 電話：0739-22-2088

講義「福島原発事故と放射能汚染」

元京都大学原子炉実験所助教授 海老澤 徹氏

講師プロフィール

1964年、京都大学原子炉実験所に入所。専門は、中性子物理学。1973年より「伊方原子力発電所の行政訴訟」に原告団の証人として参加。担当分野は「原発の工学的安全性」。2002年、京都大学原子炉実験所を定年退職。

講義「これからのエネルギー社会の姿

：自然エネルギーと地域づくり」

和歌山大学経済学部教授 中村太和 氏

講師プロフィール

昭和21年生まれ、北海道釧路市出身。公益事業論専攻。現在は「自然エネルギー・バイオマスをベースにした循環型社会への転換」について研究。また、環境問題と防災を統合する「防災コミュニティから環境コミュニティ」へのシステムづくりについても研究している。

お申込み 不要です。直接、会場までお越しください。

主催 田辺市教育委員会

お問合せ 田辺市教育委員会生涯学習課

電話：0739-26-4908

家庭での節電にご協力ください

これから冬場は、寒さが厳しくなるにつれ、暖房機器が多く使用されるため、大量の電力が消費されますが、そうした中、今夏に続き、この冬場も電力不足が心配されています。

節電するための取組は様々な方法がありますが、エアコンをはじめ、照明やテレビ、冷蔵庫など消費電力の割合が高い電化製品の節電が効果的です。節電への取組期間や時間など、また節電をするための具体的な取組については次のとおりです。

皆様のご協力をお願いいたします。

取組期間について

平成23年12月19日(月)～平成24年3月23日(金)まで

ただし、土・日・祝及び年末年始の12月29日(木)～1月4日(水)は除く

節電時間と目標値について

9時～21時までの間、10%以上の節電を目標にお願いしますとともに、特に、消費電力が増える夕方以降18時～21時における重点的な節電をお願いいたします。

具体的な取組と効果について(節電効果の率は目安)

エアコンの温度は、重ね着などをして20度を目安に設定する。

設定温度を2度下げた場合、7%の節電効果。

不要な照明は、できるだけ消灯する。

通常、エアコンを使用される家庭では4%、ガスや石油ストーブ等を使用される家庭では6%の節電効果。

テレビは画面の輝度を下げ、必要なとき以外は消しましょう。

標準～省エネモードに設定し使用時間を3分の2に減らした場合、通常、エアコンを使用される家庭では2%、ガスや石油ストーブ等を使用される家庭では3%の節電効果。

冷蔵庫の設定は「弱」にし、扉を開ける時間は最小限に減らし、食品を詰め込まないようにする。

通常、エアコンを使用される家庭では1%、ガスや石油ストーブ等を使用される家庭では2%の節電効果。

このほか、窓には厚手のカーテンを掛けたり、テレビや照明などの消灯はリモコンではなく本体の主電源を切るか、使用しないときはコンセントからプラグを抜く。また、エアコンの使用時間短縮や石油ストーブなど電力を使用しない暖房機を使用するなどの節電対策もあります。

【注意】

エアコンの控え過ぎによる風邪などには十分ご注意ください。無理のない範囲でお願いします。

石油ストーブなどを使用する場合は室内の換気や火の元には十分注意してください。

様々な組み合わせにより10%以上の節電となりますが、各ご家庭では実情に合った取組をお願いいたしますとともに、健康などには影響のない範囲でお願いいたします。

お問い合わせ 環境課 0739-26-9927

11月26日(土)長野公民館の大正琴教室の皆さんが、市民総合センターで開催された生涯学習フェスティバルにおいて発表を行いました。「上を向いて歩こう」など全5曲を披露しました。観客も演奏を楽しんでくれました。



自然観察教室のお知らせ

田辺市では、季節に応じた自然体験・観察教室を実施しています。自然に触れ、その観察を通じて自然の仕組みを知り、その大切さを学習することを目的としています。お誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。

タイトル	「七草粥を作ろう」
日時	1月7日(土) 9:30～12:00
場所	ふるさと自然公園センター
集合場所	ふるさと自然公園センター
定員	なし
参加費	100円
講師	ふるさと自然公園センター専門員ほか
対象	小・中・高校生・一般(小学生は保護者同伴)
持ち物等	採集用具・ビニール袋・食器・箸など。
申込み	前日までにハガキ又は電話・FAX・電子メールで住所・氏名・年齢・電話番号をご連絡下さい。

連絡・申込先 ふるさと自然公園センター

住所 〒646-0051 田辺市稲成町1629番地

TEL 0739-25-7252

FAX 0739-25-7252

E-mail hikiiwa@mb.aikis.or.jp

休館日 毎週月曜日(休館日が祝日の場合はその翌日)